

審議会等の名称	令和5年度第1回西脇市文化財保護審議会
開催日時	令和5年9月29日（金） 午後2時～3時
開催場所	播磨内陸生活文化総合センター 多目的研修室
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	足立裕司、佐野允彦、芝本 満、瀧原 務、西田 猛、埴岡真弓
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	—
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 笹倉邦好 教育管理部長 高橋芳文 生涯学習課長 長谷川広幸 生活文化総合センター館長 佐藤 彰 生活文化総合センター主任 菅澤敏弘 生活文化総合センター 松岡弘幸
公開・非公開の別	公開
傍聴者	なし
協議又は協議事項	1 令和5年度文化財関係事業の予定及び進捗状況について 2 その他

会議の記録（概要）	
発言者	内 容
事務局	1 開 会
事務局	2 辞令交付
教育長	3 教育長あいさつ ※ あいさつ後、教育長退出
事務局	4 会長、副会長選出 会長 瀧原 務、副会長 埴岡真弓
会 長	5 会長あいさつ
事務局	6 報告及び意見交換 (1) 令和5年度文化財関係事業の予定及び進捗状況について資料より、文化財保護事業及び郷土資料館事業について説明。

	<p>● 石上神社遺跡確認調査に関する質疑応答。</p>
委員	<p>石上神社遺跡の個人住宅造成工事について掘削深度が遺構に至らないとあるが本当に遺構に至らないのか。</p>
事務局	<p>既設の工場を解体しての建替えて、建物を壊したところ現況G Lが予定G Lより低かったことにより盛り土をして工事をするため、現況G Lからの掘削深度は非常に浅いという説明がありましたので、慎重工事となりました。</p>
委員	<p>盛り土を固めた状態では基礎には向かないので、説明の通り工事をするかよく確認して工事を進めるようにしてください。</p>
	<p>● ふるさと探訪ハイキングと童子山発刊に関する質疑応答。</p>
委員	<p>内容未定となっている、ふるさと探訪ハイキングと童子山発刊の見通しは。</p>
事務局	<p>ふるさと探訪ハイキングは、毎年3月に実施しているため予定コースは決まっていない。ただし、高松地区（金城池窯跡群）の確認調査を急に実施することになったため中止することもあります。 童子山に関しては、3名に執筆を依頼しています。</p>
	<p>● 金城池窯跡群確認調査に関する質疑応答。</p>
委員	<p>調査予定地には雑木林があるが伐採して調査するのか。</p>
事務局	<p>伐採は行わず掘れるところを掘って調査します。</p>
委員	<p>包蔵地は窯跡だけか。</p>
事務局	<p>窯跡以外もあると思われます。包蔵地の斜面地の窯跡があると思われる部分は外して計画を立てるように変更してもらったので、緩斜地の作業スペース等があると思われる部分の包蔵地を調査します。</p>
委員	<p>市が買い取りをして産業団地にするのか</p>
事務局	<p>事業者が買い取りをして、産業団地化すると担当課から聞いています。</p>

委 員	団地開発の事業者は県か。
事務局	民間で行うと担当課から聞いています。
委 員	どんな業種を予定しているのか。
事務局	まだ決まっていないと聞いています。 市の土地利用推進室より、この土地について産業団地化を考えているので本発掘調査の面積を確定してほしいと依頼を受けて確認調査をするのですが、どこが開発をして、どのような業種が入るのかは決まっていないとのこと。
委 員	市の行う開発ではないのか。
事務局	市が直接行う開発ではありません。
委 員	県が進めている県内に産業団地を多数作るという計画の一つではないのか。
事務局	県の事業と関係があるかは聞いておりません。
委 員	市が誘致をして行う事業か
事務局	市が誘致をして行う事業です、市が関わっての事業になります。
委 員	多額の費用をかけて造成しなければいけないこのような土地を利用しなければならぬほど、西脇市の中に利用できる土地がないものなのか
事務局	この土地は高速のインターチェンジにも近く、昔から地元からの開発の要望もあったと聞いております。
委 員	市が行わないにしても積極的に関与して、埋蔵文化財があることが分かっている土地に近い場所を開発することは、市が積極的に文化財の景観破壊をしているということにならないか。
委 員	本来なら市は文化財を破壊するという事業に対し抑える方向に回るべきではないか。

事務局	<p>元はもっと広い面積を開発するという計画でした。</p> <p>分布調査の報告書により、この開発は確認調査や本発掘調査で費用も時間もかかると思われるので、場所の変更もしくは計画の縮小について検討去れた方がよいと意見具申しました。</p> <p>協議の結果、今回の縮小された計画に変更されています。</p>
委員	<p>確認調査で重要なものが出てきたら事業が遅延することを伝えているか。</p>
事務局	<p>担当課には調査をして重要なものが多数出てきたら、開発予定面積は当初計画より小さくしたが全面発掘調査が必要になり、費用も時間も多くかかる可能性があることは伝えてあります。</p>
委員	<p>開発計画している線で擁壁を立てようとするとう擁壁の根入れの分が大きく計画の線より外に出るので、計画以上の包蔵地も潰すことになるのは考慮されているか。</p>
委員	<p>もう一度、この審議会で出た意見に基づき、この事業について担当課と協議して結果を報告してください。</p>
事務局	<p>いろいろな意見や質問のあったことについて担当課に確認し報告させていただきます。</p>
	<p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文化財の専門職員（学芸員）の増員の要望。
委員	<p>西脇市は、文化財の専門職員（学芸員）が少ないため、文化財のいろいろな事業が滞っていることがある。</p> <p>近隣市町では数人の文化財の専門職員（学芸員）がいるか、1人しかいない場合でも発掘した遺物等を整理する職員が数人いる。西脇市は整理員もいない。</p> <p>毎年言っていることだが、いろいろな事業を進めるためにも文化財の専門職員（学芸員）を増やすようにしてください。</p>
会長	<p>先ほどの高松の件の報告について、臨時の審議会を開くか各委員にメールで報告するようにしてください。</p> <p>閉会</p>